

社会的活動報告

福井市の下水道事業で使用する電気自動車／福井市企業局 ECOカー・ボディラッピングのデザインが採用に。

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 2回生 宮本 未来



最優秀賞を受賞し、自らのデザインがラッピングされ完成した電気自動車の前でコメントを述べる宮本さん。

福井市の上下水道を管理する福井市企業局が、新たな公用車として電気自動車を購入するにあたり、広報やゼロカーボンシティの実現に向けた啓発活動として、ボディラッピングデザインを6月～7月にかけて募集しました。これは若手職員の提案を事業化する「チャレンジみらい予算」の取り組みで、下水道に愛着や関心を持ってもらえるようなデザインを求めていたそうです。そして、応募125点の中から、生活情報デザイン専攻2回生の宮本未来さんの作品が最優秀賞に選ばれました。選ばれたポイントは、汚水のしずくが浄化されていくデザインが評価されたとのこと。10月27日には、実際に宮本さんのデザインがラッピングされた電気自動車が福井市企業局庁舎前で関係者に公開後、式典で表彰され「デザイ

ンした車を多くの人たちに見ていただき、下水道に関心を持ってもらえたらうれしい」とコメント。この電気自動車は、災害発生時には非常用電源として水中ポンプや投光器などを活用できるデモンストレーションも行われました。



電気自動車の運転席に、実際に座ってマスコミの取材撮影に応じました。



式典では、企業管理者から表彰されました。



マスコミや市関係者ら約50人が参加したお披露目会とデモンストレーション。



最優秀賞を受賞した作品のテーマは「下水から、明るい未来へ」。



水を淡い水色で表現し、県花の水仙や福井市の花アジサイも描かれたデザイン。